

同窓会入会式 校長挨拶要旨

2022. 02. 28

北海道砂川高等学校第18回卒業式を明日に控え、令和3年度北海道砂川高等学校同窓会入会式を挙行政いたします。

このたびは、本校同窓会の会長である砂川商工会議所会頭の其田勝則様ご臨席の下、2年ぶりにこのような形式で行えることを大変喜ばしく感じます。

さて、本校同窓会に晴れて入会する卒業生の皆さんに、この校長挨拶にて3点ほどお話をすることがあります。

まず、皆さんは砂川高校の第16期生として入学しましたが、今年の卒業式は第18回卒業式となっている理由をお伝えします。今から18年前の平成16年4月に、本校は普通科単位制砂川高校として開校しました。この時、新しい制服に身を包み入学式を迎えたのが第1期生で、ここから数えて皆さんは第16期生となります。ちなみに、この1期生の年次主任が小林先生で、担任の中には、穴戸先生、原先生のお名前があります。もちろん、この年の砂川高校には、3年生も在籍しています。彼らにとっては、砂川南高校から砂川高校へと校名が変わり、3月には卒業を迎えました。この卒業式が砂川高校としての第1回卒業式になります。よって第1期生の卒業は2年後の第3回卒業式となり、入学と卒業のカウントには2つの差が生じているわけです。なお、砂川南高生として入学し、砂川高生として卒業していった第1回卒業生の学年主任は私です。この時の卒業生それぞれが誇りをもって卒業証書を受け取り、現在も全国で活躍していることを申し添えます。

2点目は、本校同窓会の活動です。皆さんが2年生の夏に、水色のポロシャツが全員に配られました。コロナ禍での最初の夏、マスク着用の中でワイシャツに代わり通気性の良いポロシャツを作成し、生徒全員にプレゼントしたのが同窓会の皆さんでした。以後翌年より、砂川市からの支援によって新入生全員に無料配布されることとなりました。昨年夏には、同窓会用の白いポロシャツも作成し、南高、北高、砂高の卒業生が一体感を有して後輩たちを応援しようという機運を高めました。さらに、部活動で全道大会や全国大会への

出場を果たした生徒一人ひとりに対して、たくさんの補助金を支給しています。また、本校校舎4階、コンピュータ室の窓に掲げられている学校名も、JR 砂川駅のホームから見える、砂川高校の大きな垂れ幕も、生徒を応援するために同窓会から提供されたものです。このように、砂川高校を応援する企画と行動力が同窓会に漲っていることを、新入会員となる皆さんへお伝えしたいのが2点目です。

さて、最後は私から皆さんへ、ほんの小さな贈り物を約束するお話です。いつか皆さんが結婚式を挙げるとき、招待客へ案内状を郵送する場面があると思います。その封筒の表書きを毛筆で頼むと、1通あたり数百円も求められます。私でよければ、その宛名書きを引き受けます。お金はもちろんいただきません。砂川高校の同窓生へ、私からのささやかな結婚祝いです。これから先も私はずっとこのまちに居ますので、連絡先はすぐにつかめるでしょう。100通でも200通でも任せてください。

では、第18回卒業式を迎える皆さんへ、明日からの大きな飛躍と、同窓会員の絆を祝し、校長挨拶いたします。砂川高校同窓会への入会、おめでとうございます。

令和4年2月28日

北海道砂川高等学校長 小田島 数幸